

科目名	経済学	科目コード n0440
-----	-----	----------------

学科名・学年	全学科 5 学年 (プログラム 2 学年)	担当教員	佐藤 公俊 鈴木 敏紀		
単位数	2 単位・選択	開講期間	通年	時間数	時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(52), 演習() 実験(), その他(8)
教科書	大田・井上・安藤・池尾・有泉著『経済学の世界へ』有斐閣アルマ				
補助教材	プリント				
参考書					

A 科目の概要	
<p>資本主義経済・市場経済と外部との関係を考察し、社会経済についての alternative な理論の設立につとめ、将来のあるべき社会を展望する。</p> <p>近代ヨーロッパ経済史を概観し、同時に経済理論の流れを概観する。アダム・スミス、カールマルクス、ケインズなどの著名な経済学者の理論がどのような背景を持って構築され、そして 20 世紀末から 21 世紀初頭にかけての現代資本主義経済と経済理論はいかなる問題点を抱えているのかを考察する。</p>	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の社会経済の基本構造についての理論体系を理解する。 ・ 市場経済と外部との関係を考察し、 alternative な理論を理解する。 ・ 経済理論構築の歴史的背景を理解する。 ・ 近代ヨーロッパ経済史を概観し、近代資本主義経済の特質を理解する。 ・ 古典経済学・マルクス経済学・近代経済学の理論的特徴を理解する。 <p>現代資本主義経済の特質を理解する。</p>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(A) [A1]
D 履修上の注意	
<p>新聞記事の経済欄に目を通しておく。</p> <p>それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。</p>	
E 評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の社会経済の基本構造についての理論体系や、市場経済と外部との関係についての理解度をレポートにより評価する。(20%) ・ 市場経済と外部との関係を考察し、 alternative な理論についての理解度を設問により評価する。(30%) ・ 経済理論構築の歴史的背景についての理解度を設問により評価する。(10%) ・ 近代ヨーロッパ経済史を概観し、近代資本主義経済の特質についての理解度を設問により評価する。(10%) ・ 古典経済学・マルクス経済学・近代経済学の理論的特徴についての理解度を設問により評価する。(15%) ・ 現代資本主義経済の特質についての理解度を設問により評価する。(15%) <p>定期試験【 80% 】(前期末(30%), 後期末(50%))、レポート【 20% 】 の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	ガイダンス：市場経済と外部	
2	社会経済理論の成立、アダム・スミスの社会理論	
3	生産価格論：市場生産価格均衡と需給均衡	
4	結合生産、固定資本、企業資本：不完全生産価格均衡	
5	生産価格と外部： 外部からの外部性の問題	
6	組織，制度、外部からの外部性による不完全性	
7	生産現場と企業組織：不完全性、被サポート性	
8	試験	
9	市場経済と外部：外部からの外部経済と剰余	
10	市場経済の外部（制度、公共財、社会的共通資本、自然的共通資本、グローバルコモンズ）	
11	地球環境資本とサービス	
12	政府経済，家計経済，市民社会経済	
13	市場経済と外部の諸経済	
14	不完全均衡と調和、創造、規律	
15	試験	
16	物語としての経済学	序 章
17	ヨーロッパ世界と近代経済	第 1 章
18	マネーゲームと「国民経済」の展開	第 2 章
19	貨幣と富と労働と	第 3 章
20	資本制経済の胎動	第 4 章
21	資本制経済をどうみるか	第 5 章
22	資本制経済の変貌	第 6 章
23	経済競争の変化と消費者の登場	第 7 章
24	新古典派の経済学の登場	第 8 章
25	市場経済の実証分析と規範分析	第 9 章
26	国際機関の設立へ	第 10 章
27	経済学の新しい展開	第 11 章
28	市場の役割と政府の役割	第 12 章
29	大衆消費社会の到来	第 13 章
30	試験	